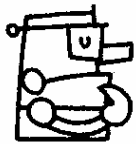


小 / 理科 / 6年 / 生物と環境 /  
人と動物の体 / 理解シート

きんにく

## 筋肉のはたらきや役目について、教えて



筋肉は、胃や心臓などの内臓をつくっていて、これらを動かしたり、骨を動かす役目をしているのさ。

胃や腸をつくっていて、自動的に動く内臓筋

体の中の筋肉は、3種類に分けられます。その一つは、胃や腸などの内臓をつくっている筋肉で、内臓筋とよばれています。

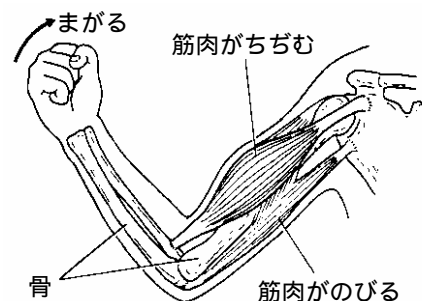
胃や腸などの内臓は、筋肉でできていて、自分で動かそうとして動かすのではなく、体のほうで勝手に動いています。食事をすれば、自動的に胃や腸がはたらいて、食物を消化してくれますし、ねているときも、肺は呼吸するために動いています。

体を動かすのに大切な、骨を動かす骨格筋

もう一つの筋肉は、骨にくっついている筋肉で、骨格筋とよばれています。骨と骨は、なん骨とよばれるやわらかい骨でつながっていたり、関節でつながっていたりします。骨にくっついている筋肉の、片側がのびて、反対側がちぢめば、うでを曲げるなど、骨を動かすことができます。ゆかに落ちた物をつまみあげるには、こしやひざ、うで、手首、指などの骨にくっついた筋肉が、複雑なのびちぢみをしているのです。この骨格筋は、自分で動かそうとしたとき動く筋肉です。

ほかの筋肉とちがっている、心臓の筋肉

心臓は、骨格筋と同じ筋肉なのですが、動かそうとして動く筋肉でない点は、内臓筋と同じです。そのため、心臓の筋肉だけは、心筋として、別にあつかわれます。心筋が休まず動き続けて、血液を全身に送っているのです。生きていられるわけです。



<うでをまげるときの筋肉の動き>